

結果の概要

～平成24年6月分～

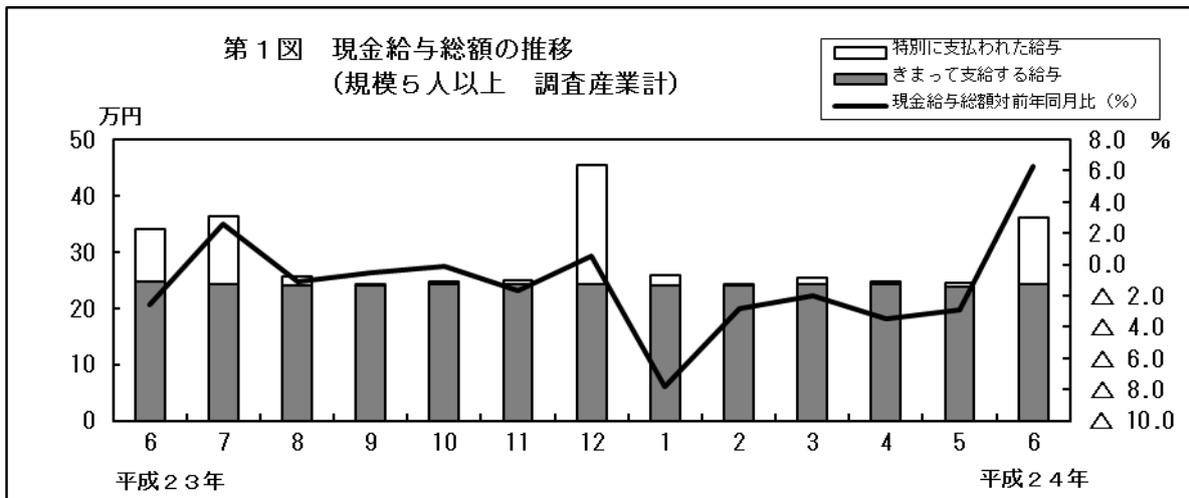
1 賃金の動き

6月分の調査産業計の1人当たりの月間現金給与総額は、361,687円となり、その指数は対前年同月比6.3%増（規模30人以上では、406,617円、7.8%増）となった。（第1図、第1・2表）

また、きまって支給する給与（定期給与）は、242,509円、対前年同月比は1.8%減（規模30人以上では、260,422円、0.6%減）であった。（第1・2表）

きまって支給する給与のうち所定内給与は、226,268円、対前年同月比は2.3%減（規模30人以上では、240,359円、1.7%減）であった。（第1・2表）

就業形態別にみると、一般労働者の現金給与総額は、516,755円（規模30人以上では、566,319円）、パートタイム労働者は、103,938円（規模30人以上では、115,575円）であった。（表20・21表）



2 労働時間の動き

6月分の調査産業計の月間総実労働時間は、146.2時間、対前年同月比は0.5%減（規模30人以上では、149.8時間、1.7%増）となった。（第1・2表）

また、所定外労働時間は、9.8時間、対前年同月比は5.1%増（規模30人以上では、11.7時間、11.7%増）であった。（第2図、第1・2表）

製造業の所定外労働時間は、14.6時間、29.8%増（規模30人以上では、13.5時間、10.8%増）であった。（第2図、第1・2表）

就業形態別にみると、一般労働者の総実労働時間は、177.4時間（規模30人以上では、175.8時間）、パートタイム労働者は、94.3時間（規模30人以上では、102.3時間）であった。（表20・21表）

